

## 第2期「京商・環境行動計画」

～知恵が光る環境産業を京都から～

地球温暖化は、人類の生存基盤に関わる最も重要な環境問題の一つであり、社会全体でその対策に取り組むことが重要である。京都商工会議所では、これまで全国の商工会議所に先駆け「京から減らす。CO<sub>2</sub>削減で経費も削減!」を合言葉に、環境意識の高揚や削減目標達成に向けて取り組んできたが、これを更に推し進めて行く必要がある。

京都府、京都市においても、2010年に地球温暖化対策条例を改正し、全国に先駆けた温室効果ガス削減の取り組みを進めているところである。

一方で、日本は長引く景気低迷という逆風の中、未曾有の大震災に遭遇し、その結果、これまでの既成概念を根底から見直す時期に立っている。今後の日本経済は、エネルギー利用のあり方の再構築とともに、これまでの大量生産・大量消費という「量的対応経済」から、再利用や循環型という「環境対応経済」へと変化のスピードを速めることが予想される。企業はこうした変化を前向きに捉え、次の中長期的な成長へと力強く「展開」していくために、「知恵」を出し合い、勇気を持って行動すべき時である。

京都商工会議所では、会員企業の地球温暖化対策や環境貢献型ビジネスにつながる企業の取組みを支援していくことで、環境と経済を両立した持続的な地域経済の発展、さらには京都の都市格向上に貢献することを目的とし、第2期「京商・環境行動計画」を策定する。

2011年6月  
京都商工会議所

<体系図>

第2期 京商・環境行動計画

(方向)

(京商の施策)

(企業の目標)

(目標)

1. 京都企業の省CO<sub>2</sub>の推進

(1)中小企業の  
エネルギーマネジメント推進

(環境家計簿・KES・京都版CO<sub>2</sub>クレジット)

(2)会員企業への  
省エネ支援を強化

(啓発、紹介、支援、連携の拡大)

エネルギー効率化などの  
経営改善と環境貢献の両立

環境と経済に貢献

2. 環境ビジネスの誘発・発信

(3)学びと交流の場づくり

(京商ECOサロンの充実)

(4)環境分野の  
知恵ビジネス<sup>(※1)</sup>促進

(情報発信やマッチングの支援)

次世代の社会ニーズに対応する  
環境付加価値の創造

地域経済の発展

3. 環境に強い人材の育成

(5)環境経営を支える  
人材の育成

(「Eco検定」の取得促進)

(6)次代の担い手への  
環境教育の実施

(小学生への環境学習事業の推進)

環境対応型社会を担う  
人材の育成

環境社会の基盤

4. 経済界による「骨太な議論」を推進

環境先進都市・京都の推進

# ＜行動計画の具体的項目＞

## 1. 京都企業の省CO<sub>2</sub>の推進

### (1) 中小企業のエネルギーマネジメント推進

業種・業態に関わらず自社が使用するエネルギーのマネジメントの向上はコストダウン等の経営改善につながるばかりでなく、CO<sub>2</sub>削減・環境貢献にも資するものである。東日本大震災を契機に高まりつつあるエネルギーに対する意識を、京都企業の実質的な取組につなげるために、会員企業のエネルギーマネジメントの意識を刺激するとともに、KES認証取得<sup>(※2)</sup>や京都版CO<sub>2</sub>クレジット<sup>(※3)</sup>の活用方法を検討する。さらに他の企業の参考となるような推奨事例を発掘する。

### (2) 会員企業への省エネ支援を強化

- (啓発) 会員企業訪問を通じて環境活動の浸透を図る。本所も率先してKES取得を目指す。
- (紹介) 社内の省CO<sub>2</sub>活動など、環境貢献と経営改善に成功した企業の成功事例をPRする。
- (支援) 地元行政や関係機関との連携のもとで環境支援の集約し、中小企業にむけて発信。
- (連携) 業界組織や団体との連携により、環境関連の情報提供やセミナー開催等を行う。

## 2. 環境ビジネスの誘発・発信

### (3) 学びと交流の場づくり

本計画の第1期にスタートした「京商 ECO サロン<sup>(※4)</sup>」は、環境分野の顧客創造や自社の本業を生かして環境価値を生み出そうとするやる気にあふれた企業が集まった。今後のサロンではより実用的な事例紹介や市場研究を通じて、多くの企業が成長するヒントを得られるような環境ビジネスの情報・人脈の源泉となるような場づくりを目指す。

### (4) 環境分野の知恵ビジネス促進

環境事業で成長を目指す企業の支援の一環として、企業価値を高めて顧客創造を図る知恵ビジネスを認定し、さまざまな支援を行う本所の「知恵ビジネスプランコンテスト」に挑戦する企業の発掘を目指す。また、ECOサロン等のセミナーを中心にして、広くマッチングや販路拡大につながる情報提供の活動を強化する。

## 3. 環境に強い人材の育成

### (5) 環境経営を支える人材の育成

職種に関わらず、高い環境知識が求められるという社会的な要請が増す中、商工会議所が運営する「eco 検定(環境社会検定)<sup>(※5)</sup>」の受験人口は社会人を中心に伸び続け、全国で年間5万人が受験しており、京都においても市内の受験者が増加しつつある。eco 検定を促進することによって京都企業の環境事業を推進する即戦力を生み出す。

### (6) 次代の担い手への環境教育の実施

平成 14 年に始まった「小学生への環境学習事業<sup>(※6)</sup>」は全国でも他にない実績と規模を持った本所独自の事業であり、これまで学習に関わった企業は 26 社、学習に参加した児童数は9年間でのべ 2 万人を超える。今後も本事業のこれまで以上の継続・発展を図ることを通して、京都の未来を担う環境人材の一助になるよう努めていく。

## 4. 経済界による「骨太な議論」を推進

東日本大震災以降、エネルギーに関する意識の高まりや、昨今の環境問題の地域の中小企業への影響が増していることから、これを契機とし、企業の存続や今後の危機管理の観点も考慮しながら、地域経済と環境・エネルギーのあり方について、議論を深めるための場づくりを進め、その成果を会員企業と共有し、発信を行う。

## I. 本計画の対象

本計画の対象は本所会員とする。特に、法律や府・市条例でエネルギー消費量や温室効果ガス排出量の算定・報告義務が課せられていないことなどにより、これらを算定・把握していない中堅・中小の会員企業を主な対象とする。なお本計画の体系図に記載する重点施策のほか、環境課題に柔軟に対応し、推進すべき施策には積極的に取り組むこととする。

## II. 本計画の実施体制および期間

本計画は本所環境対策特別委員会が中心となり推進し、必要に応じて常議員会に報告するものとする。期間については、今期の環境対策特別委員会の任期である2013年10月までを第2期間とし、以降の活動については本計画の効果を検証のうえ検討する。

## III. 関係機関との連携

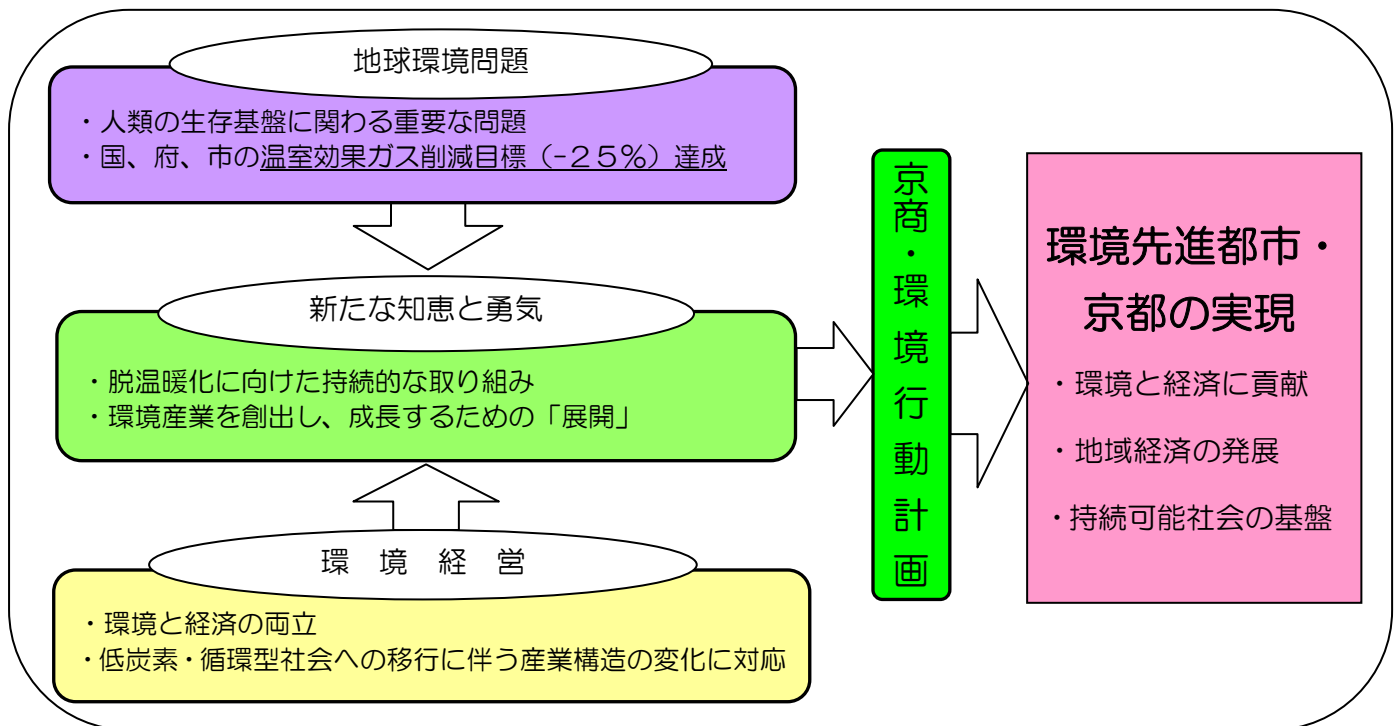
本計画の推進に関しては、環境対策特別委員会を中心に行政等の各機関と連携のうえオール京都で取組むこととし、随時意見交換の場を設ける。

## IV. 活動スローガン

「知恵が光る環境産業を京都から」

環境先進都市・京都の構築にむけて、新しい生き方、暮らし方、街のあり方に関わる社会ニーズを満たす環境付加価値を創造するビジネスや、経営改善と環境貢献を両立する企業を生み出すことで、経済と環境の好循環のモデルを京都から発信する。

## 京商・環境行動計画 理念



### <語句説明>

- ※1：知恵ビジネス…京都の地域特性や企業の強みを活かしながら、新たな知恵によってオリジナルの技術やサービス、ビジネスモデルを開発する取組について、本所は「知恵ビジネス」と名付け、その啓発・育成に取り組んでいる。
- ※2：KES…京都発の環境マネジメントシステム。システムの構築・維持にかかる費用が安価で中小企業にも取組みやすい。
- ※3：京都版 CO2 クレジット…環境に配慮した投資や行動による温室効果ガスの削減量を認定（クレジット化）し、削減をした企業に相応の金額を還元する。中小事業者等の低炭素化を促進する仕組みとして期待されている。
- ※4：京商 ECO サロン…環境に取り組む企業を応援するための、セミナーと交流会を組み合わせたサロン。
- ※5：eco 検定…環境に対する幅広い知識をもち、率先して環境問題に取り組む「人づくり」を目的に実施している検定試験。
- ※6：小学生への環境学習事業…環境問題への意識付け、環境技術への関心を深めることを目的とする企業による出前事業。平成14年度から本所が実施しており、昨年度には参加児童数がのべ2万人を超える。

# 第2期「京商・環境行動計画」 重点施策ロードマップ

重点施策	具体的な活動	平成22年度	平成23年度		平成24年度		平成25年度	計画目標
		11-3月 (5ヶ月)	4-10月 (7ヶ月)	11-3月 (5ヶ月)	4-10月 (7ヶ月)	11-3月 (5ヶ月)	4-10月 (7ヶ月)	
京都企業の省CO2の推進	(1)中小企業のエネルギーマネジメント推進		<b>エネルギー効率化に関する情報提供</b> 「環境家計簿」普及 省CO2の成功事例を収集 「見える化」からエネルギーマネジメントへの新展開 (KES、行政との連携検討) エネルギーマネジメントによる省CO2の事例紹介					省エネ相談・診断の活用件数 (40件) エネルギーマネジメントの推奨事例紹介 (15件)
	(2)会員企業への省エネ支援を強化		会員企業訪問活動 支援情報の集約・発信 制度活用など業界団体へのよびかけ ECOサロンの開催(環境対策のテーマ)					訪問件数 (11,000件) ECOサロン等環境関連のセミナー開催 (30件以上)
環境ビジネスの誘発・発信	(3)学びと交流の場づくり		ECOサロンの開催(環境ビジネスのテーマ) 持ち込み形式のECOサロン					
	(4)環境分野の知恵ビジネス促進		環境事業を行う企業の知恵ビジネスプランコンテストへの参加 マッチング・販路拡大に関するセミナー・情報提供					環境事業を行う企業の参加 (10社以上) 支援情報提供 (200社以上)
環境に強い人材の育成	(5)環境経営を支える人材の育成		「eco検定」の受験促進 ECOサロンとの連携					検定受験者 (3,600人)
	(6)次代の担い手への環境教育の実施		「小学生への環境学習」実施 環境学習事業の新しい展開について検討					学習参加者 (累計3万人)
「経済界による骨太な議論」	地域経済と環境・エネルギーのあり方について議論		意見交換の場づくり					

利用効率化の取組の呼びかけ  
 会員企業へのエネルギー

第2期「環境行動計画」策定